

日本AAL第53回大会で採択された活動方針

1、バンドン精神に基づく共存と民族自決権の擁護をかかげて

世界に巨大な構造変化が進行している。唯一の超大国である米国による支配に代わって、中国など新興諸国や途上国が政治的にも経済的にも存在感を強め、非同盟諸国の役割が増大している。しかし大国の巻き返しやテロや民族紛争の多発するなかで、逆流もおきており、情勢は混とんとしている。われわれはいまこそ、バンドン精神にもとづく共存と自決権擁護の旗を高くかかげて、あらゆる人種差別と民族排外主義、大国主義と覇権主義に反対し、非同盟運動の発展に寄与し、平和の国際秩序づくりをめざしていく。

- ① 2017年に登場したトランプ米政権は米国第一主義をかかげ、国内的には移民排斥や民族差別の排外主義的政策をすすめ、対外的には軍事的な覇権主義を強めている。核兵器や軍事力の強化をはかり世界各地への軍事介入や干渉を強めている。一方、ロシアのプーチン政権もクリミア併合やウクライナへの武力介入を強行した。南シナ海における中国による力による現状変更も緊張と周辺国の懸念を招いている。われわれはあらゆる大国主義と覇権主義に反対して、バンドン精神に基づく、民族自決権の擁護と平和共存、平等互惠の国際関係の実現を訴え、大国の圧力や干渉に反対し主権をまもってたたかう各国人民と連帯していく。
- ② 北朝鮮の核・ミサイル問題で北東アジアの緊張が高まっている。われわれは、北朝鮮の核・ミサイル開発と軍事的脅迫や圧力に反対し、対話による解決を求める。6カ国協議の再開による核ミサイル問題の解決とともに、朝鮮半島の休戦協定を平和非核条約に変えて平和体制の構築をもとめる。一方、東南アジアでは内政不干渉と紛争の話し合い解決を原則とするASEANが平和共同体を発展させ、東アジア全体に、東南アジア友好効力条約(TAC)を基礎とする平和秩序構築を働きかけている。ASEANのイニシアチブを支持し、「平和・協力・繁栄の東アジアの平和共同体」の実現をめざして、各国の人民と連帯していく。そのために「戦争するな、どの国も」の国際署名を引き続き広げ、ASEANや東アジア首脳会議に働きかけていく。
- ③ 領土問題などの国際紛争について、国際法にもとづく話し合いによる解決を要求する。南シナ海や東シナ海の軍事化や軍事的対応に反対する。南シナ海問題について、「DOC」の完全で効果的な実行と「COC」の早期実現を求める。
- ④ キューバ、ニカラグア、ベネズエラへの米国の圧力と介入に反対し、米国からの自立と新自由主義に反対して国の民主的発展をめざす中南米カリブ民諸国人民のたたかいを支持し、連帯していく。
- ⑤ イスラエルによる不法なパレスチナ占領と軍事支配に反対し、国家建設をふくむ諸権利の回復を求めるパレスチナ人のたたかいを支持する。現状と背景を日本国内にひろ

める広報、宣伝活動を連帯しておこなう。安倍政権によるイスラエルへの武器輸出と共同研究開発に反対し、パレスチナを国家として承認するよう日本政府に要求する署名運動を広げる。

- ⑥ あらゆるテロに反対する。テロと戦争との悪循環を断ち切るため、国際法と人権に基づく国連中心の政策とテロをうむ土壌の除去に取り組むことをよびかける。テロを特定の宗教や文化と結びつけることに反対し、異なる文明間の対話と共存の確立に努力する。そのために各国の宗教者との対話や意見交換の機会を作る努力をする。
- ⑦ 食料主権や経済主権を阻害するTPPや日欧EPA（自由連携協定）に反対する。そのために食健連や農民連などとの共同を引き続きすすめ、食料主権と経済主権を守ってたたかう世界の人民運動と連帯する。

2、核兵器の廃絶と軍事同盟の撤廃をめざして

世界では大国支配の道具となってきた冷戦の遺物である軍事同盟が次第に過去のものとなり、解体したり、機能不全に陥っている。かわって仮想敵をもたず加盟国が平等の資格で参加する平和の地域共同体が発展している。核兵器を禁止する非核地帯が5大陸に広がり、2017年に国連加盟国122カ国の賛成で核兵器禁止条約が採択された。われわれはこのような世界の流れを自覚して、核兵器廃絶をめざす運動をさらに広げ、非同盟諸国の政府や人民と連帯し、日米軍事同盟を廃棄して非核・非同盟・中立の日本をめざす。

- ① 唯一の戦争被爆国の国民として被爆者とともに核兵器廃絶の運動に参加する。歴史的な核兵器禁止条約の採択を歓迎し、日本政府と国会にたいし、すみやかな調印と批准を求める。このことを可能にする非核の政府の実現に努力する。非同盟諸国首脳会議のオブザーバー組織として、すべての非同盟諸国に核兵器禁止条約に参加するよう働きかける。
- ② 国際会議や外国訪問などあらゆる機会を利用して、アジアと世界の平和を阻害し、対立の要因となっている日米安保体制と在日米軍基地の役割と実態を明らかにし、軍事同盟に反対し、外国軍基地の撤去を求める各国の人々と連帯し、そのたたかいを研究し学んでいく。
- ③ 翁長沖縄県知事を先頭にした「オール沖縄」による辺野古新基地建設阻止の運動に連帯し、反対運動に取り組む。第1回アジア・アフリカ会議以来かかげられている「平和で自由な沖縄の実現」の目標をあらゆる国際会議で提起し、沖縄のたたかいにたいする国際連帯の強化にとりくむ。
- ④ 横田基地や岩国基地などそのほかの在日米軍基地の強化・拡大に反対し、撤去をもとめる運動に共同してとりくむ。オスプレイの沖縄、横田配備や木更津の整備基地

化など日本全土の米軍訓練場化に強く反対する。

- ⑤ 新ガイドラインによる日米軍事共同作戦に反対する。自衛隊の海外派兵と拠点づくりに反対、ジブチの自衛隊基地の縮小、撤去を求める。南シナ海の領有権紛争や軍事対立に介入すべきではなく、自衛隊の派遣や米軍との共同軍事演習に反対する。

3、憲法 9 条を守り、生かす平和主義をかかげて

安倍政権は、日米軍事同盟を強化し、一連の反動的な立法を強行し、「海外で戦争する国」づくりをすすめている。そして戦争と武力の放棄を決めた憲法 9 条の明文改憲にのりだした。このころみは日本帝国主義の再興を夢見る右派勢力の野望と結びついている。このような道は、平和主義によって日本が守ってきた国際的な信用を台無しにするばかりか、私たちが連帯する A A L A 諸国人民の運動に再び敵対し、干渉する過去の過ちを繰り返すことにつながる。われわれはこのような企てを阻止し、憲法 9 条を基礎にする平和外交によってアジアと世界諸国民との協力・共存をめざす。

- ① 憲法 9 条の明文改憲に反対し、憲法違反の新安保法制＝戦争法を廃止し、集団的自衛権の行使を容認した閣議決定を撤回させるため、引き続き野党と市民の共闘を支持し、発展させる。安倍内閣を退陣に追い込み、憲法 9 条を生かした自主的、平和的な外交をすすめる連合政府の実現に努力する。
- ② 安倍政権が強行した共謀罪法は、反対する勢力の封じ込めをねらったもので、「戦争する国づくり」の条件づくりである。「共謀罪」法は、私たちがすすめる国際連帯活動の重大な障害、足かせとなる危険があり、これの廃止をめざしてたたかう。特定秘密保護法の実施や、言論、報道にたいする政権の弾圧的介入に反対する。
- ③ 福島原発事故の現状と、環境や人命に及ぼす原発の危険性を内外に発信する。原発の再稼働や輸出に反対する。原発事故被害者の救済と被災地の完全復興を要求する。原発ゼロをめざした再生エネルギーの普及に努力する。
- ④ 安倍政権のゆがんだ歴史認識をただし、日本軍慰安婦についての「河野談話」の完全実施をめざす。元慰安婦の人権と尊厳の回復を目指す立場から、2015 年の日韓両政府の合意の見直しを求める韓国政府からの要求に日本政府が誠実に対応するよう求める。政府の教育介入に反対して民主教育を守る。歴史教科書等の採択にたいする権力的な介入や特定教科書の押し付け、道徳教育の教科化や教育勅語の容認に反対する。
- ⑤ 在日外国人の生活と権利を守る運動をすすめる。ヘイトスピーチなど多民族蔑視の言動を批判し、人権を守る取り組みをすすめる。国連人権差別撤廃委員会から優先的改善事項として勧告された朝鮮学校への差別撤廃の運動をすすめる。

- ⑥ 男女平等を促進するため女性差別撤廃4署名（女性差別撤廃条約選択議定書の批准をもとめる請願、民放・戸籍法の差別的規定の廃止・法改正を求める請願）に取り組む。

4、非同盟運動との連帯を強化し、民間レベルでの交流を広げる

- ① われわれが創設以来常設書記局のメンバーであるアジア・アフリカ人民連帯機構（AAPSO）を通じて、非同盟運動との連帯を強化する。そのために非同盟諸国の動向を系統的に研究し、情報発信していく。国際会議への参加や在京大使館との連携をつうじて、諸国政府との関係を広げる。
- ② 東南アジア諸国連合（ASEAN）がすすめる東アジアの平和イニシアチブを支持し、東アジアの平和共同体構築をめざす国際署名を、ASEAN事務局と東アジア首脳会議の議長国政府にとどける。ASEAN人民フォーラム（APF）など民間レベルの交流に参加して、連帯を広げる。
- ③ 欧米の平和・民主勢力とも交流する。各国の人民との文化交流を重視する。

5、組織の拡大と財政の強化をめざして

- ① すべての都道府県に組織を確立し、次期大（2019年）までに、会員5千人の組織をめざす。そのために「日本AALA60年」史の学習と普及にとりくむ。
- ② 日本AALAならではの魅力ある文化活動や旅行、国際交流に取り組む。
- ③ 運動をささえる財政活動を強化する。そのためオスパールコーヒーなど物品販売に力をいれる。事務局の体制を強化する。

以上